

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	*	*
	○	百貨店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数次第だが、旅行にも出られない状況で消費者のストレスもたまっていることから、近場での時間消費で、ショッピングを楽しむ機会も少しずつ増えていくのではと期待している。
	○	スーパー（経営者）	・ワクチン接種が予定どおり進めば、東京オリンピックの影響もあり、人の移動が増加し、購買活動もコロナ禍以前に少しずつ戻るとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・例年であれば最盛期だが、今年は新型コロナウイルスに左右されるので予想ができない。良くなるだろうという楽観視はできない。
	○	コンビニ（経営者）	・夏に向かって人の動きが良くなることを期待したい。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進んでくれば人の動きは良くなっていくと予測できるが、全国的に接種が遅れていることもあり、感染者数の増加により今以上悪くなる可能性も考えられる。特に繁華街、観光地、夜間の売上が激減している状態である。
	○	コンビニ（店長）	・東日本大震災発生から10年ということも多くの人が当県に入り、その後新型コロナウイルスの感染が拡大したが、まん延防止等重点措置により大分抑えられてきたので、当市は徐々に良くなっていくとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束のみえない状況下で、自治体のプレミアム付商品券が発売されるため、売上につながることを期待している。
	○	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスワクチン接種が行われて経済活動が戻るとみている。
	○	家電量販店（従業員）	・大型連休を控え、客の購買行動は上向いていく傾向にあるとみている。その過程で景気も上昇していくと考える。
	○	住関連専門店（経営者）	・3か月くらい先だと、高齢者のワクチン接種も終わっているとみられるので経済活動が活発化する。また、お盆も近くなるので、売上向上を見込んでいる。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・ワクチンの接種範囲も広がるだろうし、今よりはだいぶ落ち着くと予想している。東京オリンピックも開催されるので弾みがつけばと考えている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、現在が最下限ということで、今後、ワクチン供給や様々な対策の効果が出てくれば反動で景気が上向きになっていくことを期待したい。
	○	観光型旅館（経営者）	・ワクチン接種が進み少し落ち着きを取り戻せば、各種支援策も打てるようになり、今よりは良くなるのではないかと。
	○	旅行代理店（従業員）	・東北旅行の最大マーケットである当県において、新型コロナウイルス感染者数も減少傾向が続いている。また、ワクチン接種の拡大によって客の心理的不安が段階的に解消されていく。さらに、地域観光支援事業等、観光支援策も実施され、夏が近づくにつれて外出気運も醸成されることから、回復基調にあると推察される。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息に向かうことが前提にはなるが、新しい生活様式が定着し、自宅時間を楽しむための条件としてWi-Fi環境が必須となっている。また、GIGAスクール構想によって小中学生に配布されたパソコンの自宅利用者も増えてくるため、インターネット加入者は増加することが予想される。
	○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染も夏の時期は収まるのではないかと。収まった途端、出掛けたい人が多いとみられるため、来館にも期待ができる。
	□	商店街（代表者）	・地域によって大きく状況が違うとは思いますが、イベント、飲食店等の対応が定まってきて、低調ではあるが景気感は安定するとみている。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せない。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気の悪化が繰り返されると予想する。	
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・コロナ禍で来客数が徐々に減少している。しかし、常に変わらず買物に来ている客もおり、それらの客に買い控えなどはみられず、その状態が変わる気配はない。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・ワクチン接種に期待したいが、数か月で状況が好転することは到底考えられない。飲食店への支援はあってもその先の取引先業者には支援が全くない現状では、会社を存続させることすら厳しい。もっと裾野を広げた支援が必要である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、売上の低下はますます進む。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・消費マインドは一進一退を繰り返しており、今年1年は消費が完全に回復することは難しいとみている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・来店頻度の減少など購買傾向は現在も変化はないが、新型コロナウイルスのワクチン接種が今よりは進み、外出へのハードルが下がり動きが出てくることで、景気への上向きな影響が出てくるのが想定される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（買付担当）	・県内でも新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向で、外出に慎重になってきている。感染者数やワクチン接種の状況に左右されることは間違いない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・来客数は相変わらず減少傾向にある。加えて、節約志向が強くなってきているので、今後もこの状況は続くともみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・コロナ禍で内食需要が高まってきたのが1年前で、今もまだコロナ禍は続いており、食品小売業としては高水準で推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来客数が減少しているが、買上点数は上昇し、客単価も堅調に推移しているため、景気が後退しているわけではないと判断している。人の動き次第である。日中の営業数値は戻っていても、夜間土日の人の動きが悪い状況が続いていくとみられる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・現在横ばいくらいにはなっているが、新型コロナウイルス変異株の感染状況が横ばいになるか悪くなるかの分岐点にきている。あとはワクチン次第である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・連日の新型コロナウイルス変異株の報道をみていると、ますます経営が厳しくなるのかと不安になってくる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・当地における新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にある。ワクチン接種が進まなければ、現状のまま推移すると推測される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の延長により、外出を控える客が多く、週末の来客数改善が見込めない。また、各種イベントの中止も売上を下げている原因である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染の収束次第である。環境に変化がない限り、景気が上向くことはない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・観光客が皆無で土産品の売上がほぼゼロの状態である。今後も売上が見込めない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が一番大きい。前年は4～5月は全く動かず大苦戦した。5月末～6月に掛けては少し落ち着き、経済も持ち直してきたが、またお盆に向かって経済が落ち込んだ。前年は6月だけが少し良かった。今年は前年6月のような一服するところをもっと先になってくるのではないかと予測しているため、厳しい状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種者が増え、新型コロナウイルス感染者が低い水準で推移するようになったり、東京オリンピック開催など明るい話題が続けば、買物をする方が増えてくるとみられるが、現状では先行きが不透明である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえないなかで、景気が改善される見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新車製造の遅れから納期に影響が出てきており、販売に結び付かないケースが多々出てきている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・市場環境が変わり自粛する客が増えれば影響が出る可能性はある。しかし、前年に他店で時短営業等自粛をした時期も当社は変わらなかった。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域ではないのでそれなりの集客は見込めるが、爆発的な集客は見込めない。現状維持がしばらく続くともみられる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・県内でまん延防止等重点措置の期間が延長された。終了後にも影響があるとみられ、状況は引き続き芳しくない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・コロナ禍において営業活動が制限されているため、なかなか受注量が伸びず、販売量が減少している状況である。

□	住関連専門店（経営者）	・景気が非常に悪くなっており、大変な状況が続くとみている。
□	その他専門店〔食品〕（経営者）	・ワクチン接種の進み具合にもよるが全く期待できない。何かしらの目に見える打開策が打ち出されなければ、上向きにはならない。悪い状態は変わらない。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・東京オリンピックやワクチン接種等、今後の動向について、先を見通せない状況にある。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・気候が良くなれば暖房用燃料の需要も少なくなってくるので、例年どおりの売上推移を見込んでいる。
□	高級レストラン（経営者）	・ワクチン等が行き渡っていけば少し良くなるとみている。
□	一般レストラン（経営者）	・今月より悪くなるということは、完全にクローズするということ以外考えられないので、厳しい状況が続くとみている。もう体力勝負になってきており切迫感がある。1日も早く回復することを望んでいる。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の動向次第である。
□	観光型旅館（スタッフ）	・4月末に発出された3度目の緊急事態宣言に対しての動きを見ると、発出前と比べても変化がないことから、よほどの締め付けがあれば別だが、それがない限り人々の動きは変わらないとみられる。よって景気の変化はないとみる。
□	旅行代理店（従業員）	・業界ごとに明暗が分かれているが、旅行業界だけで見れば非常に厳しい状況が続いている。今後の見通しとしても厳しい状況は何ら変わらない。新型コロナウイルス次第である。
□	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が仮に落ち着いたとしても、旅行業界的には県外移動の動きが出てこないことにはなす術がない。
□	タクシー運転手	・3か月先は一般高齢者のワクチン接種が終了しているかしていないかの状況とみられ、現在の景気と変わらないと判断する。
□	観光名所（職員）	・国や地域独自の緊急事態宣言による客の減少もあるが、自粛ムードが漂っており、緊急事態宣言があってもなくても活動を自粛しているという感じを受ける。このまま宣言が解除されたとしても戻るといったことはなく、現状のまま推移していくとみている。
□	観光名所（職員）	・ワクチン接種は高齢者から徐々に進んでいるが、変異株の出現で感染者数が増えている状況を見ると、まだまだ新型コロナウイルスの影響は続くともみている。重傷者、死者が増えることでレジャー関連は避けようという心理が働いてしまうのではないかとみられる。
□	遊園地（経営者）	・現在のところ新型コロナウイルス感染者数は落ち着いているが、変異株やワクチン接種の動向で顧客心理が左右されるため、先行きは不透明である。
□	競艇場（職員）	・新型コロナウイルスの影響は続くともみている。感染者が拡大しているなかで、来場を促進するのは難しい。
□	美容室（経営者）	・コロナ禍にあり、客も来店を控えているようである。
□	設計事務所（経営者）	・中長期的な手持ちパイの減少はあるものの、現時点においては、事業計画のとおり淡々と進んでいる。
□	住宅販売会社（経営者）	・近日新住宅展示場がオープンする。それに伴う新たな集客により、受注拡大の予定である。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・コロナ禍が続く中で余計な出費は控えられる。巣籠り生活に適した商材やリフォーム工事は増えることが予想される。
□	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・県内の人の動きは少なくなっているが、住宅購入を検討している客は事前予約などを活用して密になる状況を避けることもできるので、減少傾向にある現段階と大きな変化はないと考察している。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況が良くないなか、先行きはまだまだ不透明であり、景気回復には時間を要する。
▲	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・例年に見られる新学期需要などの動きが厳しさを表現しているが、これが実体的には巣籠り状態とオーバーラップしているのではないかとみている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が進んでも、外出の自粛が進んでも、いずれにしても業績は悪化しそうである。

▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されることは間違いなく、決して明るい見通しを予測できる環境下ではない。
▲	スーパー（店長）	・余りにも前年の売上が良かったせいで、これからの前年比100%を達成するのは大変厳しい状況である。
▲	スーパー（営業担当）	・ゴールデンウィークを控え、人の動きは前年より増加するとみているが、行楽観光等で食品を含む行楽用品を購入しての人の動きは考えにくく、季節商材中心に伸び悩むと予測している。一方、巣籠り需要やバーベキュー等の商材は伸長を予測するが、全体的には厳しいとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・前年の特需反動は今後も継続する。また、緊急事態宣言から帰省も減少傾向になることから、期待していた景気回復には至らないのではないかと考える。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったが、先行き不安が先行しているので、売上高は安定しないと予測する。
▲	衣料品専門店（店長）	・コロナ禍において景況感が悪化している。外出自粛が継続されることで、ビジネスウェア需要は回復してこない。
▲	家電量販店（店長）	・前年は特別定額給付金での需要があったが、今年はそういった特別な需要はないので、前年よりは売上が下がるのではないかとみている。家電製品は買換え需要があるが、新しいジャンルの商品が生まれていないので、先行きも楽観視できない。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・緊急事態宣言によりゴールデンウィーク中の収入が大幅に減る企業が多く、今後の経済活動にも大幅に影響が出る。
▲	その他専門店〔靴〕（従業員）	・県内でクラスターが頻発しており、予断を許さない状況が続いている。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などで、自分たちはもちろん、全ての取引業者でも業績が悪くなっている。今後もこういった政策は続き、さらには、新たな変異株が出てくることも予想される。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明なため、ゴールデンウィーク需要に代替マーケットがなく、観光業の打撃は大きくなるとみている。GDPも伸び悩み、金融政策も一部の客に還元されて良くなるようにみえるが、全体的に先行き不透明である。ワクチン接種率が上がれば経済が上向きになると考える。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの変異株がまん延している。全国民へのワクチン接種にはまだまだ時間が掛かる。当面、景気は悪くなると見込んでいる。
▲	通信会社（営業担当）	・コロナ禍で好転する材料に乏しく、厳しい状況になると予想している。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束する方向がみえないと厳しい。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・期待していたゴールデンウィークであるが、今よりもひどい状況になり、その後更に新型コロナウイルスの感染が拡大することも心配している。前年の同時期よりもはるかに悪い状況になるとみている。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大して、そのままずらずると2～3か月以上続くともみている。悪くなってくる。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・5月11日で緊急事態宣言が解除されるが、そのあと再びリバウンドし、新型コロナウイルス感染者数が大きく増加することも考えられるので、景気が良くなるどころか、更に悪くなってしまうというふうに考えている。
×	スーパー（経営者）	・5月は、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大が地方でも急速に広がり、地元の観光事業者、飲食店事業者、行事・イベント催事事業者、それに関わる事業者の経営は極めて深刻な状況になってくるとみている。ワクチン接種がもっと広範囲にわたり速やかに進まない、生活必需品の食料品の買物でさえも自粛が更に進むのではと危惧している。消費に関しては当面悪い状況が続くとみられる。
×	スーパー（経営者）	・コロナ不況といわれるような状況に差し掛かり、第4波が更に拡大する恐れもある。マインドが内向きになっているため、なかなか消費に向かないと同時に、可処分所得も伸びていない。

	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・従来ただでさえ見通しが立たなかった状態で、今回のような無謀な要請を急にされた飲食店や納入業者の打撃は計りしれない。補償等の問題以前に3か月後飲食店が残れるかすら危うい。
	×	一般レストラン（経営者）	・夜の街の商売はまん延防止等重点措置が適用中なので、その解除状況とワクチンの進捗状況でこれからが決まると思う。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収まらない限り、人は出てこない。特に当店の客は外出自粛をきちんと守っている人がほとんどである。新型コロナウイルス感染が収束しない限り、良くならない。
	×	一般レストラン（経営者）	・景気の悪化が長期にわたり継続しているため、個人的な財源を少しでも手元に置いておきたいと思う人が多くなっているようである。それに慣れてしまうと新型コロナウイルスが終息した後でも、思い切った消費にはつながらなくなることが予想される。
	×	観光型ホテル（経営者）	・ワクチン等が市況に回らない限り、社会活動は自粛をせざるを得ない。
	×	タクシー運転手	・まだワクチン接種のめどが立っておらず、人々の行動にゆとりがほとんどない状況である。ワクチン接種が早期に行き渡るように望んでいる。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症防止対策を採りながら行動する人が確実に増えているようである。特に、コンサート等のイベントがある日は駅周辺が人であふれることもあり、ワクチン接種が進めば、今以上に県をまたぐ移動も増えてくるとみている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が予想よりも長く続いているため、回復に若干ブレーキが掛かっている印象を受けるが、現在の回復基調は変わらない。
	○	建設業（企画担当）	・現在、景気を大きく動かしている要因は新型コロナウイルスだが、その像が段々と見えてきたことに伴い、対策が採れ始めてきている。
	○	広告代理店（経営者）	・無観客になったとしても、東京オリンピックの開催で多少経済が動くことに期待する。
	○	公認会計士	・希望的観測であるが、2～3か月先には新型コロナウイルスワクチンの接種が進み、感染状況も落ち着いてくるとみている。飲食、小売、サービス業などの営業制限が解かれれば、現状よりは景気回復が進む。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・現状のコロナ禍では良い状況になるとは思わないが、当県の場合、非常に良い方向に向かっているため、当社においても積極的に販売に結び付け、利益に結び付く方向で努力をしている状況である。
	□	農林水産業（従業者）	・今年は果樹全般の開花が今までになく早かったため、収穫が早まり、収入増加に期待が持てる。
	□	食料品製造業（経営者）	・県内での新型コロナウイルス感染者数は減ってきているが首都圏や大阪の感染者数をみていると先が見えない。土産業界は人が動かないと厳しい。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続き、悪い状況に変化はない。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・地方の新型コロナウイルスの感染拡大も日増しに悪化傾向にある。終息に向かうどころか、これからの季節を考えれば、人の往来はより活発になることが予想され、将来の景気はむしろ悪化するのではないか。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・現在の半導体価格の安定は今後も続くと考えられる。従来は徐々に下がり、それを新製品によりカバーしていたが、新製品開発はこれまでどおりであり、旧製品価格は安定しているため、業績は好調をキープできるとみている。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない。
□	輸送業（経営者）	・今後の景気動向は、結局のところ新型コロナウイルスの感染状況次第であると言わざるを得ない。東京オリンピック関連の設備投資は既に終わっており、東京オリンピックが開催されたとしても、観客制限が掛かったりして余り期待できない。やはり、新型コロナウイルス感染が収束し、消費が伸びていくのを期待するしかない。	

	□	輸送業（従業員）	・当面はまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出を繰り返すことが予想される。
	□	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が消え去ることを待ちながら、客のつなぎ止めに奔走するしかない。
	□	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まるまでは、厳しい状況が続く見込みである。
	□	金融業（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進捗するまでは人の動きも限定的と考えざるを得ない。インバウンド需要も当面見込めないなか、開催予定のねぶた祭関連の経済効果も見込みづらい。
	□	広告業協会（役員）	・東京オリンピック・パラリンピックが開催の方向で進み、世論が後押しする状況になれば、販促活動も活発になり、景気上昇の起爆剤となり得る。そのためには、ワクチン接種が順調に進むことが重要である。
	□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスに対する多数の自粛派と少数の非自粛派がそれぞれの生活を継続するものと推察する。新型コロナウイルス対策を巡る国、自治体の政策効果はほとんど影響しないレベルである。
	□	司法書士	・客となる住宅購入者数は底堅く一定の需要が望める。
	□	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・今後の2～3か月では新型コロナウイルスの感染拡大に対する抜本的な解決は見込めない。これまでどおりアクセルとブレーキを交互に踏み分ける政策が継続するとみている。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・旅館組合としてはゴールデンウィーク明けへの期待は余りない。新型コロナウイルス感染の収束を願うばかりである。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積案件等は多少増加しているが、短納期のため納期が重なりあつて思うようには売上が伸びない。また、同業他社との単価競争が激しく、利益に結び付いていない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・春から夏にかけてのイベント中止が印刷物の減少につながる。
	▲	建設業（従業員）	・年度をまたいだ出件が一段落する時期であり、コロナ禍による設計遅延が解消されない状態が続くと、工事出件が滞り景気が悪化する可能性がある。
	▲	通信業（営業担当）	・2か月先の受注量が前月比で減少している。
	▲	広告代理店（経営者）	・今後の感染拡大によっては更なる受注減が見込まれる。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルス感染が緩やかに収束し、経済も徐々に回復していくと思われていた矢先、非常に厳しい状況に変わった。先が少し見えにくくなっており、明るい材料も見つけられず、この先も良くなることは考えられない。
	×	農林水産業（従業者）	・新型コロナウイルスの影響で米価が更に下落すると予想される。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの感染の拡大により、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用がなされており、地域経済全体への影響が大きくなっている。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・新規需要の多くは新卒の採用抑制を人材派遣で補っているという背景がある。また、マスク製造等の地元製造大手企業からの大口受注は製造派遣の関連会社で取り扱っており毎月実績を積上げている。
	◎	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が大幅に遅れているが、政府の言うとおりで7月までには高齢者にワクチンが行き渡るとみている。接種がある程度進んだ段階で、これまで我慢していた消費が一気に拡大するのではないかと予想している。
	○	人材派遣会社（社員）	・中小企業が抱える組織課題は新型コロナウイルス感染症の影響があつたとしても変わらず残っており、コロナ禍でも事業継続させる具体的なイメージが湧いていることから、先を見据えた攻めの採用活動を行っていくと考える企業が増えている。
	○	人材派遣会社（社員）	・ワクチンの普及による新型コロナウイルスの終息を期待する。
	○	アウトソーシング企業（社員）	・形態を変えてはいるものの、必要な会議などは開催されるようになってきている。
	□	人材派遣会社（社員）	・飲食店、小売、旅行業はワクチン接種が行き渡って正常な生活が始まるまでは状況が好転しないとみている。求人に関しても、新しい案件が出てこない状況は変わらないことから、今と変わらない状況が続くとみている。

□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で特定業種にしか動きがない。全体的な景気が上向くまではまだ時間が掛かる。
□	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種のスピードに左右される要素が多分にあるので、県内のワクチン接種計画や接種の進捗により景気も左右される。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大型連休後の新型コロナウイルスの感染状況に左右される部分が多い。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数、新規求職者数共に増加している。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種への期待感が一因とみられるが、新型コロナウイルス感染の再拡大の動きもあり、ワクチン接種がある程度進むまでは一進一退が続くのではないかとみている。
□	職業安定所（職員）	・飲食サービス業の時短営業の長期化が続いているが、5G関連の製造業などでは人手不足となっている事業所もあり、スムーズな労働移動が行われれば失業状態になる人はそう多くならないとみられる。
□	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルス感染症や半導体不足等、低迷要因はしばらく変わらない。
▲	職業安定所（職員）	・大型建設工事に伴い、作業員の宿舎や食事の需要で新型コロナウイルスの影響が最小限に抑えられていた宿泊業や飲食業が、工事終了が近いことで先行きが不透明になっている。
▲	職業安定所（職員）	・新規求人数及び有効求人数を前年度と前々年度と比較すると、新規求人数で約7千人、有効求人数で約2万人減少しており、減少傾向は今後も続くとみている。
▲	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルスの影響で、今後経済の冷え込みが懸念される状況にある。
×	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックの影響で更に悪化するとみている。このまま開催することで、景気の期待感が弱まると予想している。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染の拡大が予想される。